

徳島県立池田支援学校美馬分校

1 学校の概要

① 生徒数

高等部			計
1年	2年	3年	
4名			4名

② 校訓

「ひかり 輝く」

③ 環境目標・テーマ

くらしと環境のつながりを見つめ、地域の環境を守る、

地球にやさしい学校にしよう。

- ・学校周辺の地域の美化に取り組む学校づくり
- ・「空き缶」「ペットボトル」等の資源サイクルに取り組む学校づくり
- ・学校生活の中で「電気」や「水」など環境に関する問題を発見し、問題解決に取り組む学校づくり



2 行動方針

- ① 地域の美化に取り組めます。
- ② 「空き缶」「ペットボトル」等の資源リサイクルを行います。
- ③ 節電・節水に努めます。

3 行動

- ① 毎月30日を「みまの日」(3→み, 0→ま)と定め、地域の美化について学ぶとともに、学校周辺地域において清掃活動を行った。



- ② 資源リサイクルを作業学習(教科等をあわせた指導)に位置づけ、PTA・近所のコンビニエンスストア・近隣の高校等の協力のもと回収した「空き缶」「ペットボトル」等の洗浄や潰しの作業を行った。



- ③ 使用していない教室や廊下の照明を小まめに消灯するとともに、節電や節水を呼びかける表示物を、電灯のスイッチや水道の蛇口の周辺に貼ることで注意を喚起した。また、毎月の電気及び水の使用量をグラフにして掲示し、節電・節水を呼びかけた



- ④ 環境掲示板を作り、生徒・保護者及び来校者に本校の取り組みを紹介するとともに環境保全活動について啓発した。

取り組み（①～③）ごとに分類して掲示し、わかりやすくなるように工夫した。



- ⑤ 池田支援学校美馬分校ホームページに「学校版環境 I S O」のコーナーを設け、取り組み状況をアップし、環境保全活動の大切さを広めた。

学校URL <http://ikedamima-ss.tokushima-ec.ed.jp/>

4 具体的効果

- ◆ 「学校版環境 I S O」に関する活動を通して、生徒が環境に目を向けることが出来るようになった。特に、地域の清掃活動では積極的に取り組む姿勢が見られた。
- ◆ 環境掲示板に毎月の電気や水道の使用量を掲示したことや、スイッチや蛇口の周辺に節電・節水を呼びかける表示をすることで、生徒及び教職員の意識が向上した。
- ◆ 用紙の裏面利用やゴミの削減及び節電・節水など、教職員の環境に対する意識が高まった。

5 改善点

- ◆ 内部評価を定期的に行い、評価結果をもとに、生徒及び教員による話し合いにより、行動方針・計画の見直しや改善に努めたい。
- ◆ ホームページ等による地域への発信を継続して進めて行きたい。
- ◆ 節電・節水は定着しつつあるので、今後、環境に関する学習をより深めることで一層の成果が上がるように図りたい。
- ◆ 本年度の活動に加えて、「緑のカーテン作り」など新しい取り組みも検討することにより、活動内容を広げて行きたい。